

NPO法人 大島まちづくり協議会

NEWS

大島まちづくり協議会事務局
笠岡市大島中1839-6
TEL 090-7991-4928
FAX 0865-67-6818
✉:m7p1@oshimachi@yahoo.co.jp

いきいきOH! SHIMA

事業内容

平成26年度に続き
サロン運営に重点を
置く。昨年度実施し
た総務省の調査研究
事業を実証するため
に今年度は岡山県備
中県民局の協働事業
として採択支援を受
けることになった。

平成27年度通常総会開催

平成27年6月28日(日)、平成27年度通常総会を開催しました。
提出された議案はすべて原案通り可決承認されました。

- 第1号議案 平成26年度 特定非営利活動法人大島まちづくり協議会事業報告書及び決算書
- 第2号議案 平成27年度 特定非営利活動法人大島まちづくり協議会事業計画書及び予算書
- 第3号議案 任期満了に伴う役員を選任～

役員異動一覧<NPO>			
退任者		新任者	
相談役	高倉 宏充	相談役	佐藤 尊保
副理事長	藤井 正信	副理事長	浅野 正明
	大島 浩文		二階堂徳栄
	浅野 節治		
理事	広常 玲子	理事	藤井 茂

山陽学園大学・短期大学と連携調印

平成27年7月3日 大島海に見える家にて



連携・協力に関する協定書

特定非営利活動法人大島まちづくり協議会（以下「甲」という。）と山陽学園大学・山陽学園短期大学（以下「乙」という。）は、相互の連携・協力の推進に当たり、次のとおり協定を締結する。

第1条 本協定は、甲及び乙がその協定を締結する。

第2条 甲及び乙は、それぞれの設置の趣旨の実現に資することを目的とし、これらを通じた協力の推進を図る。

第3条 甲及び乙は、平等互恵の精神に基づいて、次の連携・協力を推進する。

一 甲が実施する諸活動に対し、乙が学術的見地から助言すること

二 甲が実施する諸活動に、乙の学生及び教職員が、乙の正課及び学校行事として参加すること

第4条 この協定は、平成27年7月3日から平成28年3月31日まで効力を有するものとする。ただし、期間満了の1ヶ月前までに甲又は乙がいずれからも解約の申し出がない場合は、自動的に1年間延長するものとし、以後も同様とする。

第5条 本協定書に定めのない事項、事故等不測の事態に関する事項及び本協定書の運用等に当たって生じた疑義に関する事項については、平成27年7月3日

(甲) 特定非営利活動法人大島まちづくり協議会 (乙) 山陽学園大学・山陽学園短期大学

理事長 大島 浩文 学長 貴成文彦

びっちゅうサポート事業運営委員長あいさつ

皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます

浅野 正明
(大島まちづくり協議会 副理事長)

平素より大島まちづくり協議会の取り組みにつきましてご支援ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

当協議会も結成後5年を経過し、この間多くの方々にご協力をいただき、様々な活動事業に取り組むことができ、感謝申し上げます。

人口減少、少子高齢化、過疎化が急速に進むなか、日々生活環境の厳しさが増えています。このような現況から当協議会では生活環境の改善、整備に取り組んでいます。とりわけ、健康維持向上、交流促進等地域に根ざした笑顔で思いやりのある居場所づくりに努めてまいり所存でございます。

昨年度は、総務省の地域創生の実証事業「暮らしを支える地域運営のあり方に関する調査研究事業」の中で、地域の抱えているニーズを把握、課題解決・改善に向け、諸事業を試行いたしました。

本年度は、備中県民局協働の事業の提案募集に応募した結果、「ささえ愛・助け合い・分かち合い・笑顔の備中サポート事業」が採択されました。そこで、昨年に続いて、地域の共助、助け合いシステム構築と地域コミュニティの再構築により、皆様がいきいきと暮らせるまちづくりを目指します。

当協議会は多くのボランティアの方々はもとより山陽学園大学、各関係機関・団体と連携ご協力をいただき、各種事業に取り組んでおります。

大島地域の皆様が「笑顔で支え合い、助け合い、繋がり合う」心豊かに生きいきと暮らせる住みよいまちづくりを目指し、進めてまいり所存でございます。

今後とも、皆様方の一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

備中県民局協働事業

「ささえ愛・助け合い・分かち合い・笑顔のびっちゅうサポート事業」

平成27年5月19日に採択されました。
(事業内容) 昨年の総務省事業の「暮らしを支える地域運営のあり方に関する調査研究事業」の実証事業

- 1) いきいきサロンシンポジウム
・・ 10月12日
講演とシンポジウム
- 2) 毎月4回開催サロン
・・ 車での送迎事業
- 3) 三世代交流事業
・・ ふれあいフェスティバル
・・ 10月25日津雲貝塚 周辺
- 4) 三世代交流事業
・・ 秋穫祭 ・・ 11月22日
- 5) 高齢者の日常生活の安全確保事業
・・ 心のゲートキーパー研修会
- 6) 見守り体制確立事業
・・ 喫茶開設 (月曜・土曜)

いきいきサロン シンポジウム IN 大島

日時 平成27年10月12日(月)
会場 大島海に見える家集会室

基調講演

「いきいきと心豊かに暮らすために」
講師 山陽学園大学 隈元 美貴子 教授

シンポジウム

コーディネーター 古川 英巳 山陽学園大学特任教授

パネラー 隈元 美貴子 山陽学園大学教授
柳田 元継 山陽学園大学非常勤講師・NTC技術人間環境開発部(農学博士)
國本 政子 元新見公立短期大学特任准教授
浅野 和彦 大島まちづくり協議会総務部長

山陽学園大学新入生のオリエンテーション

とき 平成27年4月4日 当日の参加者 理事長、職員、学生、来賓(約120名)
場所 大島海に見える家 内容 まちづくり等大島の地域学習/郷土料理/大島素戔鳴神社で桜見物

感想

『今日の研修を通じて感じたこと・考えたこと・しようと思ったこと』
・大島のまちおこしをしている方は、とても優しく、たくさんのおいしい名産物や傘踊りなどをしてくださり嬉しかった。
・まちおこしをしてみたいと思った。海もきれいで、神社からの風景がとても素敵だと思った。
・自分の住んでいる以外の町のまちおこしのことを聞くことができ、大変興味が湧き、大切な文化をなくさないようにすることが大切だと思った。私の住んでいるところでも、少しでも盛り上がるように何か少しずつもしようと思った。が進んでいる今、もっと若い人たちが関わっていくことが大切だと思った。私も人のために何か役立つことをしたい。
・地域を発展させるために様々な活動をしていて感心した。地域のボランティア活動などに、参加してみたいと思うようになった。他の学科の人や地域の人たちと話ができて、貴重な体験ができた。



今後の予定 10月14日 海辺の教室開催 ご協力要請が笠岡市